



10月25日：11月16日 後期県教委交渉

「割振り変更簿は作成するのが望ましい」
割振り変更簿が無いとしても……..
「割振り変更が実際に行われないとすれば『問題』である」



2021年度後期の県教委交渉は、本交渉・専門部交渉が10月25日に、その後11月16日に「再回答」として2日に渡って協議が行われました。前期よりも要求項目を15に絞り、そのうち次のような問題点が明らかになるとともに、一定の進展が見られる回答を得ました。

《教育条件整備……「再任用ハーフ2人で担任の方が子どもにとって良いと校長が判断」などあり得ない!》

再任用ハーフ勤務者が2人で学級担任となっている状況がこの数年続いています。これまでは尾張地区北部と西三河地区の特別支援学級で見られていましたが、本年度は知多地区などでも通常学級で行われるようになり拡大しています。この原因は教員未配置の問題と密接に関わっていますが、県教委はこれまで「なるべくそうならない方が良い」「安易に選択すべきではない」という見解を示しています。しかし、現実には校務主任など正規教員が居るにも関わらず再任用ハーフ2人で学級担

任という状況があり、是正すべきであると愛教労は指摘しました。県教委は「再任用ハーフ2人で担任する方が子どもにとって良いと校長が学校事情により判断した」などと述べ、校長の判断の是非を問わない無責任な立場を示しました。子どもにとって2人の教師が半分ずつ担任する方が「良い」などと判断する理由があるはずもなく、もしあるとすればこの方式をより広く取り入れるべきです。現場の苦渋を鑑みない県教委の態度は厳しく批判していかなければなりません。

《多忙化解消……勤務の割振り簿は作成するのが望ましい。実際に割振り変更が行われないとすれば「問題」である。》

やむを得ず時間外に勤務した場合は、給特法に基づき校長が適切に勤務の割振り変更を行い、超過労働をさせないことが学校・教員の働き方の原則です。しかし現実には、頻繁に発生する時間外勤務を多数の教員毎に割振るのは校長としても困難です。「適切」な勤務管理のためには帳簿・記録が必要であり、その一つとして「勤務の割振り変更簿」が作成されるべきです。県教委も「作成するのが望ましい」として毎年2月に整備状況調査を実施していますが、未だ割振り簿の無い学校が多数存在します。今回の交渉の中で、未整備の状況について県教委は「割振り簿を作成する法的義務はない」との見解を示しました。割振り簿が無いために、時間外勤務が放置されたり、校長が口

頭で「割振り取ってください」と言うのみだったり、事実上無制限の時間外勤務となっている状況が続いているのです。愛教労は「作成の義務はなくとも、割振り変更を適切に実施することは校長の義務ではないか」と質し、「実際に割振り変更が行われないとすれば『問題』である」との回答を得ました。割振り簿が無いまま学校を運営している校長が適切に割振りを行えるはずはなく、「適切にやっている」と言い張ってもその証拠を示すことができません。割振りを適切に行わない校長の勤務管理は違法です。県教委が認めたこの見解をもって、未だ割振りを行わない校長と交渉し、全ての職場に勤務の割振り変更簿を整備・運用させていきましょう。

10月30・31日 Zoom 全国女性教職員学習交流集会 WITH 奈良

全教女性部は「集まれば元気 語り合えば勇気 仲間がふえれば力 しなやかに・したたかに」を合言葉に活動しています。また、核兵器廃絶・憲法改悪反対、憲法と子どもの権利条約に基づく民主的な教育をすすめています。

今年の集会は「子どもとともに未来へ生きる」をテーマにリモートで開催されました。1年越しで準備した現地実行委員会が、「少しでも奈良の気分を味わって」と、名所紹介の映像を作り、吉野杉で作った参加証や葛うどんなどのお土産を事前に配送してくれました。各ブロック毎に趣向を凝らした活動紹介でした。私たち愛教労もメッセージを書いたボードを持ち、参加者の写真が一人ずつ映し出されました。全体会の記念講演は、女優の有馬理恵さんが、差別をテーマにした一人芝居の迫力ある演技も織り交ぜて、自らの差別体験を赤裸々に語るものでした。差別される人への自分の理解が非常に薄っぺらなものだったと感じました。

2日目の基礎講座「今こそ学校にジェンダー平等の教育を! 包括的性教育の視点で」は、豊富な資料を使い、学校での性教育が今こそ必要なんだと痛感できる内容でした。





12月5日 愛労連・愛知国民春闘共闘会議「2022国民春闘討論集会」

「声をあげれば変えられる!」

「春闘討論集会」に愛教労から4名の組合員が参加しました。午前は2つの講演、午後は分散会が中心でした。

午前 講演の部

1つ目は、全労連事務局次長秋山さん。「春闘とはなにか」という、そもそもの話から始まりました。

60数年前までは、各労働組合が経営者に対して賃上げを中心とした要求を掲げバラバラに戦っていたそうです。でも、それでは成果も上がらず、要求実現は困難でした。そこで、いくつかの組合が「共闘会議」を作って、統一した戦いを始めました。これが、「春闘」の始まりになりました。そして、経営者(会社)とだけ交渉ではなく、広く社会に訴えたり、政府や自治体にも要求していく、という今につながる運動へと発展してきました。今こそ、その原点に立ち返って、職場で要求(組合員だけでなく、同じ職場で働く多くの人の要求、これだけ非正規の人が増えている状況でもあるし)をまとめ経営者(会社)・業界全体・政府や自治体に求めていく。もちろん国民・住民を巻き込んでの戦いをしていかなければいけません。「ストライキ」も辞さない、「ストライキ」をも見通した戦いの道筋を立てて。私たち教職員組合に即していえば、「ストライキ」こそできないけれど、少なくとも校長に対しては「要求書」を出して、交渉もできればする、ということは最低限必要なことでしょう。

2つ目の講演は、大阪府関係職員労組委員長小松さん。コロナ禍で保健所に保健師と行政職員1人を増やすたかひを通じて、どうすれば力関係を変えてゴールが達成できるかを語られました。「声をあげることで、変えることができる」ということを熱く訴えられました。私たちも、自らの要求を自らの言葉で語る、職場の本当(本音)の声を拾い外部に伝えていく、ということが大事だろうなと思いました。「労働組合があるという安心感があるから発言できる」という言葉も印象的でした。(住田)

午後 分散会

5つの分散会が設定され、各分散会ともに10名程度で討論しました。

ストライキができない職場の組合員は、正規の勤務時間を超えて働かない「順法闘争」を幹部に提起したい。職場間に距離のある組合員は、組合員の声を徹底的に聞き取り方針化する中で闘う。平和と処遇改善、そしてプラスワンで闘うなど、「上からではなく下から作り上げる運動」「スケジュール闘争ではなくイチから作り上げる春闘」など、活発な討論が行われました。



12月1日 教育署名12,267筆 愛知県議会

12月10日 教育全国署名240万筆 集約集会

愛知県議会宛て署名

12月1日、愛知県内の教育署名を、愛知県議会に提出しました。議長さんが私たちの声に耳を真摯に傾けてくださり、こちらは署名をしていただいた皆さんの思いを伝えました。

今年の県内のスタート集会が、コロナウイルス蔓延の第5波と重なっただけではなく、地域の子ども祭りでの街頭署名を中止としたり、職場内での署名が思うように集まらなかったりで、例年に比べかなり数は少なかったようです。

子ども1人あたりの教育費が全国で最下位クラスの愛知県の姿勢を変えさせるためにも、来年は早期より署名活動に取り組みたいと考えております。

ご協力の皆さんありがとうございました。

国会宛て署名

12月10日には、東京都新宿区で教育全国署名の集約集会がありました。2月の国会提出に向けての中間発表です。

午前中は、共産党の宮本岳志衆議院議員より激励の挨拶があり、その後事務局より基調報告がありました。

【基調報告要旨】この署名は33年間で4億7千万筆を超え、「教育条件の改善」「学費の公私間格差・自治体間格差の是正」の願いを前進させてきました。今年3月、義務教育標準法が41年ぶりに改正され、小学校全学年に段階的に35人学級が導入されることになりました。長い間放置されてきた特別支援学校の設置基準は、不十分ではあるものの、9月24日に基準策定に至りました。半世紀以上にわたる私学助成全国署名のとりくみによ



って、2020年4月から年収590万円未満世帯の私立高校生の授業料がほぼ無償になる「就学支援金制度」の拡充が実現しました。コロナ禍の中でも経済的理由による学費滞納や中途退学が過去最低の水準に抑えられたのは、その成果です。

署名に確信が持てる報告でした。その後、議員会館内の国会議員控え室に要請に行きました。

午後は、各県、各団体からの報告でした。

コロナ禍で署名が困難な中、ある高校の生徒会は、2万筆近くの署名を獲得した感動的な経験を発表しました。学校が位置する商店街に署名用紙を持って一軒一軒訪ね、卒業した中学校の職員室で署名をお願いし、大手スーパーに予め署名のお願いメールを送り、協力の返事をくれたスーパーに署名用紙を置かせて貰った。などなど、機動力・行動力のある若者の姿に感動しました。

また、ある私学の高校生たちが、コロナが収まった頃に、市内の観光地で署名を集め、県内で140万筆を超えた経験を発言すると、会場はどよめきました。署名ができなかった言い訳をする大人。できない中で工夫を凝らし前進する若者。教えられたのは大人たちでした。

その後、各県からの署名数の合計が240万筆であることが発表されました。署名は2月まで継続されます。

集会後、新宿駅に向けて2年ぶりにパレードをおこないました。

